

# 教育だより

町立図書館\*学校図書館の連携で、「本を読む子ども」が育っています。

## 子どもたちに読書の喜びを

▶図書館行事への参加者も増えています。



◀紹介をした本を借りる子どもたち



### 読書を楽しむ子どもを育む環境とは？

- ①身近に子どもを心を引きつける魅力的な本が
- ②身近に子どもと一緒に本の世界を楽しんでく
- ③心静かにリラックスできる時間と空間がある

### 町立図書館と学校図書館システムが連携

平成20年9月、町立図書館のシステム更新工事に伴い、町立図書館と学校図書館のシステムを連結。学校司書第1号が唐沢小学校に配置された平成8年以降、年々バージョンアップさせてきたソフト面(人的ネットワーク)の充実に加え、ハード面の環境も整いました。国内の多くの公立学校図書館が、「物置のようで機能していない」という悩みを抱える中、このように児童生徒がすすんで活用している学校図書館を築いている例は少なく、子どもの読書活動推進の要である環境整備に取り組み自治体の先進事例としても、三芳町は注目されています。

### システム連結の成果は？

#### ■学校図書館の蔵書管理が確実に

中央図書館所蔵のサーバーで学校の蔵書データを管理するので、学校図書館の正常稼働に欠かすことのできない「蔵書点検」や「蔵書登録」等の蔵書管理が正確かつ円滑に行えるようになりました。作業時間も大幅に短縮し、司書教諭・

### その他に、どんな連携を？

#### ■団体貸出サービス

団体登録をしたクラスに、学級文庫用として、1クラス上限30冊、90日間、団体貸出を実施しています。調べ学習授業や読書案内行事で学校が本を集めている場合にも、出来る限り支援できる体制を組んでいます。

### ブックトーク授業の学校訪問

ブックトークとは、「子どもの興味や読書力を考慮して選んだ数冊の本を、一定の時間内で、読みたくなるように紹介する」読書案内の手法のひとつです。

三芳町で町立図書館司書によるブックトーク訪問が始まったのは平成4年のこと。三芳小学校1、2年生5クラスから依頼を受けました。その後、学校訪問の件数は年々増加し、平成20年度には、小学校3校の47クラスに実施。平成

唐沢小学校4年生へのブックトーク



▶三芳中学校1年生へのブックトーク

21年度は、小学校4校と中学校1校の73クラスに実施する予定です。ブックトーク終了後、「読みたい!」「貸して!」と紹介した本に群がってくる子どもたちを見て、大人の働きかけひとつで、子どもはどんどん本好きになるのだという実感があります。町立図書館の「ベストリーダー」には、学校で紹介した本が続々登場。学校で出会った子どもたちが、次の週末に家族と一緒に町立図書館に来てくれることも珍しくありません。



▲学校図書館司書連絡会

### ■学校図書館司書連絡会議

「学校図書館教育推進委員会」の一部(事務局/教育委員会学校教育課)

月1回、主に中央図書館会議室で、町内司書の研修及び連絡会議を開いています。メンバーは、小中学校8校から司書8名、町立図書館司書1名、教育委員会学校教育課担当指導主事1名の10名。臨時職員である学校司書に、この様に研修の場を保障している自治体は全国的に見てもほとんどありません。この点でも、三芳町は高く評価されています。

会議の内容は、蔵書に加えて、図書の情報交換、読み聞かせ、ブックトークなどの実技研修、読書欲を刺激する取り組みの報告やア

## 小中学生のベストリーダー本の中から



### 学校との連携が進み、こんなに変わった子どもたち

\*「町の図書館に行けばお目当ての本があるかもしれないよ。行ってこらん!」。そう勧めてくれる

アイデア提供、実務的悩みや相談に、活気に溢れる時間の中で、各自がプロフェッショナルとしての自覚を高め、自校の担当教諭のもとでよりよい仕事に取り組みます。町立図書館は、学校の実情を知り、図書館の運営に役立てると共に、学校司書たちに適切な情報やアドバイスが提供できるよう努めています。

教師や司書が増えたおかげで、たくさん的小中学生が町立図書館に来てくれます。本好きな子を育てる大人たちの連携プレー。本を身近に感じる子どもが確実に増えました。

\*放課後、調べ学習の宿題をやり、図書館に駆け込んでくる子どもたち。目次と索引を上手に使い、どんな調べる子が増えました。「ねえ、どうやって調べるの?」と聞く子がほとんどだった10年前とは雲泥の差です。学校での図書館利用指導がこんなに子どもを育てています。

問い合わせ  
中央図書館 ☎258-6464  
FAX 258-6488

**図書館だより**

中央図書館 ☎258-6464  
火～金 10:00～19:00 土、日 10:00～18:00  
竹間沢分館 ☎274-1722  
火～日 11:00～18:00



**12月の予定**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

＜中央図書館＞  
**ぐりぐらタイム**  
 第1金曜日 (保護者同伴)  
 11:00～11:15 6ヶ月～1歳  
 11:20～11:40 2～3歳  
 第2火曜日 16:00～16:30 3～8歳  
**※12月の「としょかん・くらぶ」はお休みします。**  
**★図書館・クリスマス会 参加者募集**  
 ＜内容＞大型絵本、人形劇、歌など。楽しく本を紹介します。  
 2～4歳の部 (保護者同伴) ①②は同じ内容  
 ①午前の部 11:00～11:40 親子50組  
 ②午後の部 15:30～16:10 親子50組  
 5歳～小学生の部 ③④は同じ内容  
 ③午前の部 10:00～11:30 子ども70人  
 ④午後の部 13:00～14:30 子ども70人  
 <申込み>12月2日より中央図書館で受付。  
 本人か家族のみ申し込みます。電話不可。

＜竹間沢分館＞  
 12月の「スイミーおはなし会」(第4木曜日/16:00～16:30/4歳～小学生)と、「竹間沢ぐりぐらタイム」(第4火曜日/11:00～11:30/1～4歳)は、お休みします。



【一般書】『落語 知れば知るほど』  
橋左近著  
実業日本社 2007年6月発行  
請求記号 779タチ  
「寄席文字」橋流の第一人者が著した、落語を楽しむための案内書。落語の歴史から古典落語傑作選、さらには昭和黄金期を彩った懐かしの芸人たちの表裏まで紹介し興味深い。



【一般書】『落語のいき』江戸古典落語の真髄―第1巻(小学館 DVD BOOK)―  
小学館 2009年2月発行  
請求記号 779ラク  
日本人の様々な人生を見せる古典落語を、人気作家のライブ映像と解説記事で紹介。第1巻では「番煎じ」「茶の湯」などの「お店斬」を取り上げ、インタビューや台本も掲載。

最近の図書館で大変よく借りられているのが、落語のCD(約130点所蔵)です。でも、ただ聞いているだけじゃあ物足りない。こんな本を紐解いて、落語の世界にもう一歩踏み込んでみませんか?

**図書館の本棚より「落語」をもっと楽しむ本**

【一般書】『この落語家を聴け!』  
いづみ、観ておきた  
い断家5人!」  
広瀬和生著  
アスペクト 2008年7月発行  
請求記号 779ヒコ  
談志・小三治・志の輔・談春・新世紀落語家たちの魅力を、年間1500冊以上の高座を観る著者が実況解説。昔の名人の落語CDをその後で聞け。今の落語を観に行こう!

**健康スポーツライフ**

このコーナーでは「スポーツと健康」をテーマに、様々な役立つ情報をみなさんにお届けします。  
問い合わせ スポーツ振興課(総合体育館内) ☎258-0311

今月から2月まで「冬に備える3つの心得」を紹介していきたいと思ます。  
今月は「おつまみの摂り方」です。

これから忘年会、クリスマス、お正月、新年会等と楽しいイベントが続きますが、気を抜きすぎてしまうととんでもないことに…特にアルコールは食欲を促進する作用があるので体重増の原因にも…ですので、お酒を飲むときのおつまみの摂り方で注意すべき点をいくつかご紹介いたします。

- ①おつまみに塩分の多いものや香辛料は、食欲をより促進させるので控えましょう。  
▶特に塩分はむくみの原因にもなります。
- ②おつまみは30回噛むようにする。  
▶噛むことによってヒスタミンという物質が出て食欲を抑えてくれます。
- ③乾き物や野菜サラダはおつまみには余り適しません。  
▶肝臓により負担がかかってしまいます。良質のたんぱく質を多く摂るようにしましょう。特に…マグロ、ハマチ、サンマ等の青魚が理想です。いかがでしょうか。身も心も健康的に、楽しいイベントにしていきたいと思います。

**<< HIPHOP & JAZZ >>**



**日曜日16:00～17:00・講師：山根有美子**  
このレッスンは、ヒップホップとジャズダンスの初心者用クラスです。かっこいい音楽に合わせて踊るダンスのクラスで、ヒップホップとジャズの2種類のダンスを楽しめます。週に1本の貴重レッスンですので、ぜひご参加ください。

**少人数制レッスン**

少人数制レッスン(定員15名)で、一人ひとりにより細やかな指導が可能となりました。  
 料金 4000円/8回  
 予約方法 電話または直接来館  
 予約開始日 12月16日(水) 10:00～  
 レッスン名 らくらく健康体操  
 日程 1/7.14.21.28、2/4.11.18.25  
 時間 11:15～12:15  
 担当者 溝越 場所 武道場

**三芳の文化財**  
三芳村誕生二〇〇年  
―永久物産社への夢―

明治という時代は、欧米列強の国々に追いつこうと役人のみならず国中が力を発揮、近代国家建設に向かっていた時代である。純農村の三芳においても、農民たちが近代国家発展の一翼を担うべく、農産物の海外輸出しようという希望を掲げていた。「永久物産会社」という会社が三芳村誕生の七年前、明治十五年に設立されている。埼玉県令「現在の知事」に「だされた「永久物産社」設立の趣意書には、概ね次のように記されている。開国から二十年以上を経て、我が国は人が英知を持って団結し殖産に従事し、欧米に並立せんと気運を高めてきた。我らも同志と論議し、貿易の均衡を図り、国を豊かにする一翼を担うため、製糸や製茶等の農産物を海外に国内外に輸出し、公益公益を得、国内同胞兄弟と共に幸福を得んことを希し高い設立趣意となつてゐる。志の実に高い設立趣意となつてゐる。設立者は、上宮在住の松本長次他十四名の連名となつてゐる。概ね、現在の上下久保地区の農業者の祖先の方々である。永久物産社規約は二十七条からなつており、第四条には、資本金を萬円七定め、五円を一株と

と信頼を置いています。外部指導者の方ご自身も、一自分の経験が、技能の上達だけでなく、生徒たちの人としての成長に一役買えたかと実感できることが幸せです。」と、そのやりがいについて語ってくれました。

「現代を超えたふれあいが、単に技術・技能の向上にとどまらず、教育の目標である人格の形成にも成果を上げています。このような取組は、すべての町立中学校で行われており、多くの外部指導者の方が、生徒とともに汗を流して活動しています。中学生にとって、授業とともに学校生活の両輪を成す大切な部活動。新しい学習指導要領でも、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するよう、その充実が謳われています。町立中学校の部活動は、地域の方々の協力ですますます充実したものになっていきます。」

して二〇〇株を発行している。第一四条から一五条には会社役員のことがかかれ、同会社員を二〇株以上所有するものうち三名を監事とし、その三名の中から選挙によって社長を選任した。そして任期は一年、毎年選挙で選ばれた。極めて民主的な方法が採用されていたことがわかる。明治維新からわずか十数年しか経ておらず、まだ憲法もできていない時代であるが、すでに自由民権などの動きが、三芳などの農村地帯にも浸透していたものも推測される。

第七条には、おもに営業内容や売買する商品が挙げられている。製糸すなわち絹糸をうる繭玉、薪炭、茶雑穀を主に商い、物品の預かりや金融も業務とし、製糸は、お茶と陶器と並び、明治近代国家の主要な海外輸出品であった。三芳でも、雑木林や屋敷林の林の隙の畑には桑や茶が盛んに植えられていたことが、当時の地図からわかる。薪炭も、家庭用燃料としてばかりでなく、近代国家の動力として発達してつた必要の商品で、雑木林の樹木は高値で商品になっていた。

近代国家発展にかけた絹や茶、蒸気機関燃料、江戸時代の開拓地の恵みが、明治近代国家の経済発展に貢献、そして農業国の礎とて大いに発展していった。食糧自給率の低下や農業経済の危機が叫ばれる現代とはすいぶん違い、農業は生き生きと躍動していた時代の話である。

**地域のかをを活かしてパワーアップ!部活動**

**教育トピックス**

地区大会やコンクール、発表会が盛んに行われた秋も過ぎ、三芳町立中学校の各部活動は、1、2年生が中心となり次の目標に向かってスタートしています。

ある中学校の運動場をのぞいてみると、元気に声を出している中学生の中に、いつしか活動しているコーチの姿が見えます。顧問の先生ではありません。地域に住まいの外部指導者の方です。「いい動きだ!」

「今は、こうやって打ち返すんだよ。」

熱心に生徒のよい動きを賞讃したり技術指導をしたりしています。その度に、生徒の真剣な顔が一層引き締まります。

生徒たちは、「技術が上達し、よい結果にもつながるので努力することの大切さを実感しました。」

「返事の音が小さかったり歩いて集合したりすると叱られますが、気持ちがいいです。」

「顧問の先生とは、また違った意味で相談しやすい存在です。」と、口々に話してくれました。

顧問の先生も、「豊富な経験を生かした言葉かけが、技術の向上だけでなく生徒の心にも響くようです。」

地域のかをを活かしてパワーアップ!部活動と信頼を置いています。外部指導者の方ご自身も、一自分の経験が、技能の上達だけでなく、生徒たちの人としての成長に一役買えたかと実感できることが幸せです。」と、そのやりがいについて語ってくれました。

「現代を超えたふれあいが、単に技術・技能の向上にとどまらず、教育の目標である人格の形成にも成果を上げています。このような取組は、すべての町立中学校で行われており、多くの外部指導者の方が、生徒とともに汗を流して活動しています。中学生にとって、授業とともに学校生活の両輪を成す大切な部活動。新しい学習指導要領でも、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するよう、その充実が謳われています。町立中学校の部活動は、地域の方々の協力ですますます充実したものになっていきます。」

